

今週の News

1. JSURP25周年記念事業 申し込み受付開始
2. 全まち 2020-2021 石巻セッションの開催
3. 研究会協議会での検討経緯
4. JSURP まちづくりカレッジ 会員優遇措置

■JSURP25周年記念事業 申し込み受付始まる

12月5日(日)開催の「25周年記念講演・シンポジウム」の申し込み受付が始まりました。申し込みは全て下記のウェブサイトからとなっています。

参加費は会員・学生は500円、一般は1,000円です。

<https://jsurrp25th.peatix.com>



※新型コロナ対策のため、会員/非会員を問わず会場での参加は受け付けていません。

■「まちビト・トークオンライン#8」の開催案内

JSURPの若手有志が主宰して活動を広げる「まちビト会議」が実施するまちビト・トークオンラインです。

◆テーマ

地域を育む未来へのバトンの渡し方

-100年先を見据えた土地の利用を考える-

世田谷を拠点に空き家をリノベーションしながら、そこで暮らす人の繋がりを育む街の大家さんとして活動されているまちビト安藤氏のトークセッションです。

◆開催概要

- ・日時：2020年11月27日(金) 19:00~21:00
- ・開催方法：zoomによるオンラインイベント
- ・参加申込締切：11月26日(木) 17:00
- ・参加費：無料
- ・ゲスト：安藤 勝信氏
- ・主催：まちビト会議 (JSURP 若手プロジェクト)

詳細→<https://fb.me/e/eVTapeAgZ>

申込み→<https://forms.gle/6FCGWMNFpL9Nnb9o9>

「JSURP Newsβ版」の試み

JSURPの多様な活動の「予告・案内」と「結果」を迅速に会員相互で共有することを目的としてJSURP Newsβ版を試行します。月2回発行予定

編集：渡会、中川、千葉、小谷

■全まち 2020-2021 「石巻で10年を振り返る」

「全まち 2020-2021 連続セッション」の第1弾を12月13日(日)に石巻市で開催、On-Line 配信します。

◆趣旨

多大な被害を受けた宮城県石巻市。多くの復興事業が進められ、概ね完了を迎えようとする今、中心市街地の復興事業の10年について振り返り、市内を中心にまちづくり活動をする担い手とともにこの先の10年を考えます。

◆プログラム (詳細は現在検討中)

①石巻中心市街地の今

石巻の中心市街地における復興事業やまちづくり活動の現状をまち歩き的な映像として編集し紹介します。

②セッション1：中心市街地の復興事業を振り返る

中心市街地で行われた再開発事業にスポットを当て、その経過、現在の状況、今後の展望等について、実際に事業に携わった方をゲストにクロストークを行います。

●セッション登壇の候補者 (今後調整)

地権者 (後藤宗徳氏、阿部紀代子氏、近藤和希氏、浅野太一郎氏等)、行政関係者、学識者 (姥浦道生氏、平野勝也氏等)、荻谷智大、JSURP メンバー

③セッション2：ポスト復興をみる

現在の石巻市におけるまちづくり活動について話題提供の後、まちづくりに取り組む多様な個人・団体の方々と、今後のあり方・新たな取り組み、他地域へのフィードバックについてクロストークを行います。

●セッション登壇の候補者 (今後調整)

まちづくり団体等：勝邦義氏 (ISHINOMAKI2.0)、小松洋介氏 (アスヘノキボウ@女川)、渡邊享子氏 (巻組)、荻谷智大 (街づくりまんぼう)、加納実久氏 (イシノマキファーム)、後藤峻氏 (石巻グランドホテル) 等
JSURP：小泉瑛一等

◆配信、参加方法

当日会場よりライブ配信を行います。参加方法などは詳細が決まり次第HP、FB、メール、次号News等でご案内します。なお、コロナ禍の状況を勘案し、地元以外の現地参加は行わない方針です。

■研究会協議会での検討一経過報告

JSURP の主要な活動基盤の一つである「研究会」の活動は、近年は特定の研究会を除き低調であり、会員の参加も初期のような勢いがありません。研究会協議会では各研究会の代表者の参加を得て、これからの JSURP 研究会のあり方について検討を行なっています。

協議会では7月に第1回を開催し11月4日の第3回では、これからの研究会の基本的な方向について検討を行いました。検討は、研究会の現状と課題→研究会の目的→研究会のタイプ→研究会の位置づけ→研究会のビジョン→義務と権利とすすめられています。

JSURP 研究会の特徴は、会員が非会員とも連携し、興味のあるテーマについて専門的に掘り下げ成果を発信することにあります。この視点に立って研究会の目的/研究会のタイプを二つに整理し、各々のタイプに応じて義務と権利・協会サポートのあり方を検討しています。一つは「部活・サークル的」研究会で今までの多くの研究会がこのタイプでした。そうした活動の中で「先端的、専門的」研究会に進化していったものがあり、例えばオランダ研究会などはその典型と言えます。

現在、こうした共通認識を得て、研究会の位置づけとビジョン、そして研究会の活動における義務と権利の検討が行われています。今後、研究会に関する会員アンケートなども行い、中間報告案を取りまとめることにしています。

■地域主体のまちづくり講座 始まる

2020年度の地域主体のまちづくり講座が始まりました。

11月2日に茨城県つくば市で、つくば市職員むけ講座が行われ、まちづくりの支援スキームについて、横浜市のまち普請事業、町田市の支援制度を事例に、つくば市の支援制度のあり方について、意見交換をしました。

講師として、東京都立大学の川原教授、JSURPからは内山さん(アルメックVPI)、中川さんと三村さん(アルテップ)の4名が参加しました。

つくば市での出前講座に続いて11月10日には山口県山口市でも自治体向けの出前講座が開催されました。



■つくば市での出前講座

■JSURP まちづくりカレッジ 会員優遇措置

2020年度のJSURP まちづくりカレッジの申し込受付が始まっています。今年度はコロナ禍でのオンラインセミナーが乱立しており、また例年と比べて会員の申し込みが少ないこともあり、集客に大変苦労しています。そこで会員(正・賛助)は1コース会員価格8,000円の申し込みで全4コース受講可能となる特典を設けました。詳細はJSURP事務局(jimukyoku@jsurp.com)にお問い合わせください。

より大勢の受講によって活発な講座となるよう会員の皆さまにはぜひ受講いただきますよう、お願いいたします。

Prog.No.2020-001: 地方に学ぶ観光まちづくりの今

<https://j-college2020-1.peatix.com>

Prog.No.2020-002: 草の根まちづくり最前線

<https://j-college2020-2.peatix.com>

Prog.No.2020-003: 建築・都市の新しいビジネスの潮流 2020

<https://j-college2020-3.peatix.com>

Prog.No.2020-004: 都市計画のリアルを知ろう

<https://j-college2020-4.peatix.com>

■「おたクリエイティブタウン」プロジェクト

ものづくりまちづくり研究会では横浜国立大学野原准教授・東京都立大学岡村准教授の依頼を受け、ものづくり×観光「おたクリエイティブタウン」プロジェクトに参画しています。

大田区ではモノづくりを発信する「おたオープンファクトリー」を始めて10年が経ちます。with コロナ時代の新生活様式に対応した製品の企画開発販売体制、オンライン工場見学を核とするプラットフォームの構築や「made in OTA」グッズ等のコンテンツ開発を行い、こうした取り組みを検証するためのアンケート調査や、観光コンテンツを提供する工場側の評価・非参加工場に対する参加意欲調査(ヒアリング調査)を実施します。

■「伊藤整の住宅」登録有形文化財に

東京都杉並区久我山にある名誉会長伊藤滋先生のご実家である「伊藤整の住宅」が、2020年2月に登録有形文化財に登録されました。この間の経緯について、JSURP 正会員の三船康道さんが近代建築11月号に紹介しています。

http://www.kindaikenchiku.co.jp/update/column/big/2020_11/mifune01.pdf

■今月後半の予定

- ①11月20日(金) 第183理事会
- ②11月21日(土) 静岡支部浜松フィールドワーク
- ③11月27日(金) まちビト・トークオンライン
- ④12月1日(火) 全まち部会
- ⑤12月5日(土) JSURP25周年記念講演会